



はぐくみ

医療法人 育和会 育和会記念病院

育和会記念病院
介護老人保健施設 ひまわり

〒544-0004 大阪市生野区巽北3丁目20番29号
〒544-0012 大阪市生野区巽西2丁目9番31号

TEL 06-6758-8000(代表) FAX 06-6758-5690 <http://www.ikuwakai.or.jp/>
TEL 06-6751-7290 FAX 06-6751-8900

新型コロナウイルスについて

日頃は育和会記念病院をご利用いただきまして誠にありがとうございます。

昨年末に中国武漢から発生した新型コロナウイルス感染症は、またたく間に世界中に拡散しました。日本も新型コロナウイルス陽性の患者が急増し、政府による緊急事態宣言というこれまでに経験のない事態に遭遇しました。いろんな産業や学校、飛行機等の交通機関等の機能が停止しました。一時期患者数が減少し、新型コロナウイルスを制圧できた様に思われましたが、緊急事態宣言の終了とともにまた第2波とも言える新型コロナ患者の増加を認め予断を許さない状況で現在に至っています。地域の皆様方も病院にご不安な日々をお過ごしのことと思います。また閉じこもっているため運動不足になりませんようご注意ください。

当院では新型コロナウイルス対策として来院される方の体温測定をし、出入口を一か所に限定しています。また入院患者さんの面会制限も行っています。新型コロナウイルス感染は、飛まつ感染、接触感染と言われています。新型コロナの疑いのある患者さんへの対応は、ゴーグル、防護服、N-95マスク等の対応が必要であり、医療者に多大な負担がかかります。

新型コロナウイルスの基本再生産数(1人の感染者が何人に感染を伝播するか)は1.4~2.5と言われています。インフルエンザは2~3と言われていますので、感染のしやすさはほぼ同等です。

今年の夏は猛暑のため熱中症と新型コロナウイルス感染の鑑別が難しい状況でした。先日も発熱と呼吸困難で当院に救急受診された患者さんが胸部CT検査で両側下肺野にびまん性に浸潤陰影を認め画像上は誤嚥性肺炎と診断しましたが、念のためコロナの抗原検査を施行したところ陽性でした。このため当院には入院できず、保健所と相談の上でコロナ専門病院に転院していただきました。新型コロナウイルスに特徴的な画像ではない患者さんにも感度が低いと言われている抗原検査で陽性反応がでて驚かされました。常に新型コロナウイルス感染を念頭においておく必要性を考えさせられた症例です。またこれから寒くなってきた時にインフルエンザが流行してくると、新型コロナウイルス感染との区別が非常に難しく

なります。日本感染症学会はインフルエンザの検査と新型コロナウイルスの検査を同時にする事を勧めています。今後も院内感染を含めた新型コロナウイルス対策を継続して行う必要性を感じています。私も外来診療の際はフェイスシールドとサージカルマスクをつけています。

また日本の行政の事務手続きがオンライン化されておらず、新型コロナウイルスの対策に色々な問題が起こっています。新型コロナウイルスの患者数把握も全国で統一されていないと聞いていますので早急にオンライン化の必要性を感じています。

当院では国の認可がおりたので一時電話再診も試行していましたが現在は行っていません。電話再診によるオンライン診療も今後の診療の在り方を考えるうえで良い経験となりました。

話は変わりますが、育和会記念病院の呼吸器内科は医師が大分入れ替わっていますので簡単に紹介したいと思います。

塚田要呼吸器内科部長、洲鎌芳美呼吸器内科部長、藤井裕子医師が退職され、本年4月から藤本寛樹呼吸器内科部長、濱田彩佳医師、小原由子医師、津田蒼至医師が着任されました。

藤本寛樹部長は、大阪市立大学医学部の呼吸器内科だけでなく感染症科にも所属されておられ、着任早々から当院の新型コロナ対策等の感染症対策に取り組んでいただき心強く思っています。

今後とも一新された育和会記念病院呼吸器内科への患者さんのご紹介をよろしくお願いいたします。

育和会記念病院 副院長 兼 慢性呼吸器疾患センター長 寺川 和彦



左から順に、濱田、藤本、栗原



左から順に、寺川、浦岡、小原、津田

新 任 医 師 紹 介

今年の4月から新しく入職した先生方に、
下記の質問に答えていただきました。

- Q1 出身・前任地はどこですか？
Q2 専門分野・資格・これまでの実績など
Q3 育和会記念病院での抱負・方針



消化器内科
佐伯 善彦
サエキ ヨシヒコ



Q1 東大阪市出身です。卒業は、大阪
市立大学です。大阪市立大学第三内科
(現、消化器内科)に入局。大阪市立大
学附属病院で臨床研修を終えた後、今
里胃腸病院、まちだ胃腸病院、大阪市立
大学附属病院、大阪社会医療センター
勤務等を経て、ふたたび2001年から
今里胃腸病院勤務となりました。このた
び、ご縁をいただきまして育和会記念病
院へ参りました。

Q2 専門は消化器内科です。特に食道、
胃、十二指腸までの上部消化管疾患、ピ
ロリ菌感染症、肝硬変、食道静脈瘤とい
った門脈圧亢進症が得意です。消化器病
専門医、消化器内視鏡指導医、ピロリ菌
除菌認定医、胃腸科専門医、健診情報管
理指導士、日医認定産業医等を持ってい
ます。

Q3 大阪市立大学を卒業し、医師になっ
てからの大半を生野区の病院で過ごして
参りました。初めて胃カメラを施行させ
ていただいたのも生野区内の病院です。
地域の患者様、近隣の先生方に育てて
いただいたものと感謝しております。こ
れからも初心にもどり、患者様に寄り添
い、ともに病氣と闘って行きたいと考え
ています。どうぞよろしくお願いします。



循環器内科
市場 直也
イチバ ナオヤ



Q1 大阪市港区出身 大阪市立大学卒業

Q2 循環器内科、特に心臓カテーテル治
療や下肢血管のカテーテル治療

Q3 高齢化に伴い心筋梗塞や狭心症等の

動脈硬化性疾患は増加しています。今ま
での経験を活かして地域のみなさまの健
康維持に貢献したいと思います。



循環器内科
加山 優
カヤマ マサル



Q1 兵庫県神戸市出身、卒業は兵庫医科
大学です。 **Q2** 兵庫医科大学病院で1
年、育和会記念病院で1年臨床研修を積
みました。未だ専門分野はありませんが、
循環器の幅広い疾患に対応できるように
勉強して参ります。 **Q3** 当院は患者さ
まに対して真摯で大変経験豊富な先輩
医師が診療しております。少しでも近
づけるように努力いたします。また、患
者さま一人一人の立場に寄り添った医
療を実現できるように日々努力して参
りたいと思っております。



呼吸器内科
藤本 寛樹
フジモト ヒロキ



Q1 兵庫県出身です。平成15年に鳥取
大学を卒業しました。

Q2 呼吸器内科全般ですが、特に呼
吸器感染症や喘息、慢性閉塞性肺疾患
(COPD)等を中心に診療を行って参り
ました。

Q3 地域の基幹病院として、近隣の医院
やクリニックの先生方と連携を密にとり、
呼吸器診療をしっかりと地域住民の方々
に提供出来る様努めて参ります。



呼吸器内科
濱田 彩佳
ハマダ アヤカ



Q1 出身は奈良県で、近畿大学を卒業し
ました。1年目に育和会で研修しました。
大阪市立大学医学部呼吸器内科に入局
後、大阪市立十三市民病院で勤務、その
後しばらくは非常勤で外来を中心に勤務し
ていました。

Q2 総合内科専門医、呼吸器内科専門
医、結核・抗酸菌症認定医

Q3 研修医時代にお世話になった病院に
再び戻ることができ、とても懐かしく感じ
ております。久しぶりの復帰で慣れるの
に時間がかかりますが、精一杯貢献でき
るよう頑張ります。



呼吸器内科
小原 由子
オハラ ユウコ



Q1 近畿大学出身

Q2 呼吸器内科専門医

Q3 地域のみなさまに貢献できるように
尽力しますのでよろしくお願い致します。



呼吸器内科
津田 誉
ツダ タカノリ



Q1 帝京大学 大阪府大阪市 ベルラン
ド総合病院(2018年4月～2020年3
月)

Q2 内科認定医 緩和ケア研修修了

Q3 新しい環境で慣れないことが多々あ
りますが、一人前の医師を目指し日々努
力してまいります。宜しくお願い致し
ます。



整形外科 豊田 嘉清

トヨダ ヨシキヨ



Q1 大阪市出身、神戸大学卒業、大阪回生病院

Q2 関節外科、人工関節、スポーツ整形、医学博士、日本整形外科学会専門医、中部日本整形外科災害外科学会評議員、難病指定医、身体障がい者指定医

Q3 地域医療に貢献できるように頑張ります。私は関節外科が専門です。(特に股、膝の人工関節置換術など)また、この地域の骨粗鬆症治療の中核病院になれたらと考えています。

患者様のQOLをあげられるように診療を行いたいと思います。まだまだ未熟ですが日々精進して参りますので、よろしくお願い致します。



放射線科 大隈 志保

オオクマ シホ



Q1 大阪府出身、大阪市立大学卒業です。こちらに赴任する前は大阪市立総合医療センター放射線科で働いていました。 **Q2** 放射線科診断専門医 **Q3** 迅速かつ丁寧な画像読影を目標にがんばります。

研修医

八木 良太

ヤギ リョウタ



Q1 神戸大学卒業

Q3 精一杯頑張ります!ご指導ご鞭撻の程、よろしくお願いいたします。

研修医

久志 実香

クシ ミカ



Q1 大阪市出身です。神戸大学を卒業しました。

Q3 立派な医師となり、皆様のお役に少しでも立てよう一生懸命頑張ります。



皮膚科 松本 彩希

マツモト アヤキ



Q1 大阪府出身、東京医科大学卒業。初期研修修了後、大阪市立大学医学部皮膚科に入局。

Q2 皮膚科

Q3 皮膚のかゆみや出来物は日常生活に大きな影響を与えます。少しでも

研修医

武田 学

タケダ マナブ



Q1 出身は和歌山県です。和歌山県立医科大学を卒業しました。

Q3 一生懸命がんばりますので、色々教えてくださいとうれしいです。よろしくお願いします。

研修医

國延 奈央

クニノブ ナオ



Q1 愛媛県今治市出身、川崎医科大学卒業。

Q2 大阪府赤十字血液センターで働いていました。

Q3 頑張りますので色々教えてください。よろしくお願いします。

認定看護師のご紹介

下記の認定看護師が新たに在籍しておりますのでご紹介いたします。

福島聡美(皮膚・排泄ケア認定看護師)

私は2019年3月より循環器病棟とフットケア外来を兼務させていただいております。循環器、糖尿病に罹患されている患者さまにおいてフットケアは非常に大切です。下肢潰瘍は難治性創傷とも呼ばれ、完治するまでとても時間がかかり、さらに患者さまの努力も不可欠となります。出来る限り自分の足で最後までしっかり歩けるよう、異常の早期発見、早期治療が行えるよう患者さまを中心に医師、スタッフと共にケアを行うことを担っております。



丸田洋美(救急看護認定看護師)

超高齢化社会を迎え、高齢患者さまの救急搬送が増えています。また高齢者の独り暮らしや老老介護など、患者・家族を取り巻く環境も大きく変化しています。しかし高度医療により救命が容易となり、望まない延命も生み出されているのではないかと…。緊迫した状況下で、少ない情報量と限られた時間の中「その人らしい生き方」とは何かを医療者は家族と共に考えていく必要があります。救急看護認定看護師として個々の患者の状況に応じ、患者・家族が望む医療ケアについて最良の看護援助を提供していくことが大切な役割だと考えています。



育和会訪問看護ステーション開設(令和2年5月1日)のご案内

管理者 櫻本 久子

5年ほど前から訪問看護ステーション開設に向けて試行錯誤の中、小さな一歩からの取組みを始めてきました。そして、地域の医療機関の先生方、また介護福祉関係職の方々のご指導、ご協力のおかげを持ちまして、今年5月1日付けで「育和会訪問看護ステーション」を開設することができました。皆さまには感謝の気持ちでいっぱいです。この場をお借りしまして、ステーション開設までの道のり、訪問看護への想いについて少しお伝えしたいと思います。

超高齢社会に突入している生野区において、退院後の療養生活が思うようにいかず、短期間での入退院を繰り返されるケースが少なくありません。地域密着型の基幹病院として生野区の急性期医療を担う育和会記念病院の中では、患者さまの退院後の生活に注視することの優先度が下がりがちで、生活者としての視点が不足していると感じていました。

2014年からの地域包括ケア構想、診療報酬改定のタイミングもあり、2016年から退院後訪問指導を開始、退院前訪問指導にも力を入れ始めました。実際に患者さまの生活環境に足を踏み入れると、療養生活がしやすい病院環境との違いが一目瞭然であり、入院中に行っている療養指導が退院後の生活で上手く活かされていないことを目の当たりにしました。退院後を見据えた退院支援、訪問看護への志の強い3名で、2018年8月に育和会記念病院からの訪問看護(医療保険)を開始、2019年5月にはみなし訪問看護(介護保険)も開始し、およそ1年半の実績の下、訪問看護ステーションの開設へと辿り着きました。

生野区では独居高齢者や老々介護の世帯も多く、サポートがあれば生活できるのと思う患者さまも少なくありません。ほとんどの方が住み慣れた地域や自宅で過ごしたいと思っているのが現状です。自宅に帰った時の、今まで見たことがないような笑顔を目の当たりにした時、少しでも長くここで暮らせるようにサポートさせていただきたいと日々実感しています。今までは育和会記念病院が主治医のケースでしか訪問しておりませんでした。これからは在宅医療の先生方を始め、在宅療養を支える介護・福祉関係職の方々と共に、生活者として捉えた患者さまを中心にケアを進めていけることをとても嬉しく思います。

新型コロナウイルス感染症による国難最中の開設となりましたが、育和会記念病院のICT(感染制御チーム)の指導により訪問事業での感染対策も速やかに行うことができています。また当院には感染の他にも多くの認定看護師がいますので、その知識も在宅ケアに活かしていきたいと思っています。

当ステーションの特性として、育和会記念病院が母体であることの強みを生かしながら、その理念「地域に信頼され」「その人らしさを大切に」を合言葉に、患者本人・家族の価値観を受け止め、安全で安心な在宅生活を送れるよう、より幅広くより深い訪問看護の実践、提供に努めますので、益々の連携、ご指導の程よろしくお願い致します。



登録医のご紹介

当院では医療を必要とする患者さまに適切で一貫性のある医療を提供することを目的とし、開放型病院制度を運用しています。先生方のご協力に職員一同心より感謝しております。今回は下記のご登録いただいている医療機関様をご紹介します。



葛西医院

名誉院長 小林将秀 先生 院長 小林正宜 先生
内科・外科・整形外科

〒544-0003 大阪市生野区小路東6-4-20
TEL 06-6751-6078
<https://kassai-iin.com>

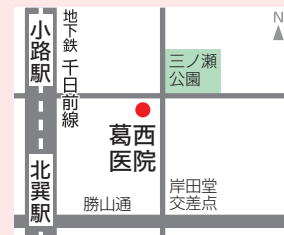


診療時間	月	火	水	木	金	土
9:00-12:30	●	○	●	●	○	●
17:00-19:00	●	×	●	×	○	×

担当医 ○名誉院長 小林将秀 ●院長 小林正宜



生野区・布施エリアのかかりつけ医として、地域に根差した医療を実践しています。生活習慣病、けが、認知症、膝や腰の痛み、訪問診療など、なんでもご相談下さい。



すがま呼吸器内科・整形外科

洲鎌芳美 先生

呼吸器内科・内科・整形外科・リハビリテーション科

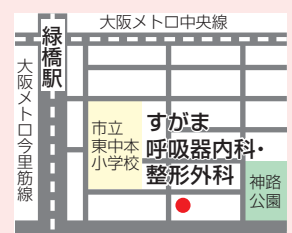
〒537-0021 大阪市東成区東中本2-15-2
TEL 06-6981-7770
<http://www.sugama-cl.com>



診療時間	月	火	水	木	金	土
8:30-13:30	×	○	○	○	○	○
19:00-20:00	○	○	○	○	○	×

2020年6月まで育和会記念病院の呼吸器内科でお世話になっていました。

7月15日に東成区で呼吸器疾患の専門診療および整形外科の専門診療を行うクリニックを開院いたしました。それぞれの学会認定専門医が患者さまを診察し、適切に診断・治療させていただきます。また地域の患者さまに信頼され、気軽に相談していただけるようなクリニックを目指しています。



INFORMATION



地域医療担当者交流会

第8回 2019年10月9日(水)

『ACP(アドバンス・ケア・プランニング)』

緩和ケア認定看護師 若宮 寛美

第9回 2020年1月31日(金)

『食事形態と嚥下機能』

摂食・嚥下障がい看護認定看護師 宮崎 悦子

上記のとおり地域医療担当者交流会を開催いたしました。

第8回はACPをテーマに講義およびグループワークを実施しました。多くの医療スタッフがターミナルの患者さまに対して日々どのように対応するべきか模索することが多いため「情報交換をすることができてよかった」との声をいただきました。

第9回の『食事形態と嚥下機能』については実際に嚥下食を喫食していただきました。貴重な経験となり大変分かりやすかったとの意見をいただきました。

新型コロナウイルス感染症拡大を受け、現時点での開催時期は未定となっております。落ち着きましたら再度ご案内致しますのでご参加いただければ幸いです。



呼吸器教室について

2015年4月より毎月患者さま向けに「肺炎」や「COPD」などをテーマにした「呼吸器教室」を開催しています。昨年度は新たに臨床工学技士から「酸素療法について」の講義も開催いたしました。

毎回たくさんの方にご参加いただき、アンケートでは「大変勉強になった」や「参考になりました」との声をいただいております。現在は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため参加者を縮小し院内のみで開催しております。



大阪東部呼吸器疾患地域連携の会

2019年9月28日(土)大阪東部呼吸器疾患地域連携の会を開催しました。

『当院における高額療養費制度の案内システム』

医療福祉相談室 保 直子主事

『呼吸器リハビリテーションの重要性と、

当院の呼吸器リハビリテーションの実践』

呼吸器内科部長 洲鎌芳美医師

リハビリテーション科科長 小村 真也

リハビリテーション理学療法士 早川 梨穂

『重症喘息における病診連携の可能性』

大阪市立大学大学院 医学研究科

呼吸器内科学講師 渡辺 徹也医師

以上3席を講演いたしました。院内外あわせて37名の方々にご参加いただきありがとうございました。

また、座長の労をお取りいただいたやすなりみどり診療所 安成 憲一先生、共催いただきましたアストラゼネカ株式会社には厚く御礼申し上げます。次回は11月28日(土) オンラインでの講演を予定しております。改めてご案内いたしますので、ぜひご参加いただければ幸いと存じます。



編集後記

何かと不便の多い今日のごごろですが、皆さまいかがお過ごしでしょうか。昨今の新型コロナウイルス感染症対応のため発行が遅延しておりましたが、無事はぐくみ第18号を発行することができましたことを心より感謝いたします。当院では今後も地域の諸先生方に役立つ情報を提供できるように努力してまいります。誌面作りについてご意見・ご感想がございましたら、電話・FAX等にてお聞かせください。皆様からのお声を心よりお待ちしております。

地域医療連絡室直通TEL: 06-6758-8115

検査予約専用TEL: 06-6758-9230

FAX: 06-6758-8007

医療福祉相談室直通TEL・FAX: 06-6758-1080